

# 令和6年度 福島県教育研究発表会

## 一次案内

### ◎ 趣 旨

本県学校教育の向上に資するため、県内公立学校教員（幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校）の優れた教育実践・研究及び福島県教育センターの教育実践・研究の成果の発表と意見交換等を行う。

### ◎ 主 催

福島県教育センター

### ◎ 共 催

福島県教育庁義務教育課

### ◎ 後 援

福島県小学校長会

福島県中学校長会

福島県高等学校長協会

### ◎ 内 容

#### (1) 所外研究発表

① 県立高等学校研究発表

② 公立幼稚園等研究発表

#### (2) 教育センター研究発表

① 所員チーム研究

② 長期研究員研究（令和5～6年度長期研究員）

#### (3) 所外実践発表（担当 福島県教育庁義務教育課）

「ふくしま教育創造コンソーシアム」として実施していた発表内容です。

① 公立小学校実践発表

② 公立中学校実践発表

③ 公立義務教育学校実践発表

### ◎ 開催日時と会場

令和6年11月21日（木）

9：50～16：00

集合形式（会場：福島県教育センター）と

オンライン形式を組み合わせ実施

※希望する研究発表のみの参加も可能です。ただし、基本研修として参加する場合は1日参加となります。



## ◎ 当日の日程

9:20～ 9:40	受付
9:50～10:00	開会・諸連絡
10:10～12:00	発表①～②
13:00～15:50	発表③～⑤
15:50～16:00	諸連絡・閉会

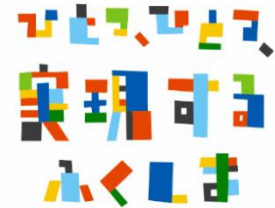
### 《発表について》

○配当時間50分

・発表25分、協議・質疑等25分

※協議・質疑等の時間を十分にとり、発表内容を深めながら参加者と共有します。

- この発表会は、小・中学校初任者研修の地区別研修B及び小・中・高等学校中堅教諭等資質向上研修の選択研修に該当します。
- 参加申込方法等は福島県教育センターWebサイト（9月中旬掲載予定）、または二次案内（9月中旬発出予定）をご覧ください。



## ◎ 昨年度の発表会から

昨年度は、令和5年11月22日（水）にオンラインで開催しました。おかげさまで178名から申込があり、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校および教育センターからの研究発表を行いました。また、岩手大学教育学部 准教授 久坂哲也氏による講演「『メタ認知』に働きかける授業づくり」も実施しました。

### ○参加者の感想(一部)

- ・探究的な学びと協働的な学びの効果を具体的な数値として知ることができて面白かった。また、生徒の探究的な学びのためには、教師の発問が重要であることを改めて知りました。
- ・子どもの思考スキルを育てるために必要なことを学ぶことができました。特に、レベル別に育成する資質・能力を定め、それらを養うためには教科横断的なアプローチが効果的であると分かりました。これからの授業実践の改善に生かしていきます。
- ・今回の話は今悩んでいる所であったので大変勉強になりました。概要と要点の学習を生徒に取り組みでもらえるよう精進していきます。
- ・掲示物の工夫をすることで、学びの連続性が保たれているという話を聞いて、確かに小学校にはたくさんの掲示物があると感じました。何か工夫してできることがあれば真似したいと思いました。
- ・授業で、ただ振り返りを書きましようと言っても、なかなかスムーズに書くことができない児童が多いので、振り返りの視点を提示することは大事だと思いました。
- ・読みの授業は、あらすじをつかむことがメインになってしまいがちであると実感しました。そのため、今回の実践を学級や教材に合わせながら、取り入れさせていただきたいと思います。

